「人工知能との未来」／「人間と人工知能と創造性」

教材別リメイク版　中学３年　国語

３年　　組　　番　　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」（Ｐ．１～Ｐ．５）までです。解答はＰ．６～Ｐ．９の解答用紙に書きなさい。
- 大問四は、**教科書『国語３』（光村図書）の「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」を開いて**解答しなさい。
- 大問四では、「**人工知能との未来**」（**羽生善治**）**を文章Ａ**、「**人間と人工知能と創造性**」（**松原仁**）**を文章Ｂ**と呼びます。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能　（５０点）

一　次の――線部について、①～⑩は漢字の読みをひらがなに直し、⑪～⑳はひらがなを漢字に直して書きなさい。ただし、**⑤⑧⑩⑰⑱⑳は送りがなも必要**なので、必ず送りがなまで書くこと。　１点×20＝20点

① 技術の驚異的な進歩。
② 若手の棋士が勝つ。
③ 膨大な情報を集める。
④ 未知の領域に入る。
⑤ 判断を機械に委ねる。
⑥ 弱点を克服する。
⑦ 名画を鑑賞する。
⑧ 同じ手順を繰り返す。
⑨ 鋭い洞察を示す。
⑩ 長年の経験で培う。
⑪ しんちょうに進める。
⑫ 素朴なぎもんをもつ。
⑬ 新しいていあんを受け入れる。
⑭ 解決策をもさくする。
⑮ れいせいに判断する。
⑯ 固いけついを示す。
⑰ 難問にいどむ。
⑱ 信頼関係をきずく。
⑲ 調査のはんいを広げる。
⑳ 意見が一方にかたよる。

二　次の問いに答えなさい。（語句の知識）

2点×7＝14点

(1)　「膨大」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　ふくれあがってこわれそうなこと。　　イ　量や数がきわめて多く、規模が大きいこと。

ウ　重要で価値が高いこと。　　エ　少しずつ増えていくこと。

(2)　「懸念」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自信をもって言い切ること。　　イ　気がかりで、心配に思うこと。

ウ　深く考えずに受け入れること。　　エ　はっきりと区別すること。

(3)　「抽象」の**対義語**を、漢字二字で書きなさい。

(4)　次の四字熟語の□にあてはまる漢字一字を書きなさい。　　**試行□誤**（失敗を重ねながら方法を探ること）

(5)　次の慣用句の□にあてはまる語を、ひらがなで書きなさい。　　**□を巻く**（あまりのみごとさに、たいへん感心する）

(6)　「予測」の**類義語**としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　観察　　イ　推測　　ウ　検証　　エ　断定

(7)　「創造」と**熟語の組み立て**が同じものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　思考　　イ　読書　　ウ　高低　　エ　新型

三　次の例文Ａ～Ｈについて、後の問いに答えなさい。（文の成分と文の構造）　２点×８＝16点

Ａ　姉は、母が買ってきたケーキを食べる。

Ｂ　ああ、ついに夏休みが終わってしまったのか。

Ｃ　兄は将棋を指し、弟は囲碁を打つ。

Ｄ　新しい技術が広まれば、社会の仕組みは変わる。

Ｅ　兄の絵と　妹の詩は、たがいに引き立て合う。

Ｆ　昨日、私は図書館で人工知能の本を読んで　おいた。

Ｇ　しかし、雨はまだ降り続いている。

Ｈ　若い職人が、新しい方法をねばり強く探している。

(1)　Ａの文の述語は「食べる」である。この述語に対応する**主語**を、一文節で書き抜きなさい。

(2)　Ｆの――線部「図書館で」は、文の成分としては何にあたるか。答えなさい。

(3)　Ｇの――線部「しかし」は、文の成分としては何にあたるか。答えなさい。

(4)　Ｂの――線部「ああ」は、文の成分としては何にあたるか。答えなさい。

(5)　Ｅの――線部「兄の絵と」と「妹の詩は」の**二つの文節の関係**を答えなさい。また、この二つがひとまとまりになって主語の働きをしている、このようなまとまりを何というか。**【両方正解で２点】**

(6)　Ｆの――線部「読んで」と「おいた」の**二つの文節の関係**を答えなさい。

(7)　Ｃ・Ｄの文を、それぞれ**単文・重文・複文**のいずれかに分類しなさい。**【完答で２点】**

(8)　Ｈの文を、**単文・重文・複文**のいずれかに分類しなさい。

思考・判断・表現　（５０点）

四　教科書『国語３』（光村図書）の**文章Ａ「人工知能との未来」（羽生善治）**と**文章Ｂ「人間と人工知能と創造性」（松原仁）**を読んで、後の問いに答えなさい。　50点

(1)　文章Ａの筆者が、人工知能について語る立場としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　人工知能を開発している技術者として、その仕組みを説明する立場。

イ　将棋の棋士として、人工知能と実際に向き合ってきた当事者の立場。

ウ　人工知能を一度も使ったことのない、まったくの第三者の立場。

エ　人工知能の普及を止めようとする、反対運動の立場。

(2)　文章Ａで、人工知能が力を発揮できるようになった理由としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　人間よりも強い意志をもち、勝ちたいという気持ちが大きいから。

イ　人間と同じように、盤面を見て美しさを感じ取れるようになったから。

ウ　きわめて多くの局面を高速に計算し、人間が検討しない手まで調べられるから。

エ　過去の対局をすべて暗記し、同じ手をそのままくり返しているから。

(3)　文章Ａで筆者が述べている、人間がもつ感覚（「大局観」や「美しい手」という感じ方）は、考える場面でどのような働きをしているか。「～こと。」の形で書きなさい。［4点］

(4)　文章Ａで筆者が述べている、人工知能の判断と人間の判断のちがいとしてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［4点］

ア　人工知能は判断をまちがえることがあるが、人間はまちがえない。

イ　人工知能には恐怖やためらいがないが、人間の判断には心理が影響する。

ウ　人工知能は時間をかけて考えるが、人間はまったく考えずに指す。

エ　人工知能は勝敗にこだわるが、人間は勝敗をまったく気にしない。

(5)　文章Ａで筆者が、人工知能を脅威としてだけでなく前向きにも受けとめているのはなぜか。「～ため。」の形で書きなさい。［4点］

(6)　文章Ｂの筆者が、人工知能について語る立場としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。［3点］

ア　棋士として、対局の経験をふり返る立場。　イ　人工知能の研究者として、研究にたずさわる立場。

ウ　小説家として、作品づくりを語る立場。　エ　法律の専門家として、規制のあり方を論じる立場。

四　（つづき）

(7)　文章Ｂが取り上げている問いとしてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア　人工知能は、いつ人間の仕事をすべて奪うのか。

イ　人工知能は、小説や絵のような作品を生み出せるのか。また、創造とは何なのか。

ウ　人工知能を動かすには、どれだけの電力が必要なのか。

エ　人工知能に、どのような言語を使わせるべきなのか。

(8)　文章Ｂで筆者は、人工知能に創造性があるかどうかは、何によって決まると指摘しているか。「〜こと。」の形で書きなさい。 4点

(9)　文章Ａと文章Ｂの**共通点**と**相違点**を、それぞれ書きなさい。**【共通点・相違点の両方を書くこと】** 6点

(10)　二つの文章を読み比べることによって、人工知能についてのあなたの考えはどのように深まったか。**四十字以上五十字以内**で書きなさい。 5点

(11)　これからの社会で、人間は人工知能とどのように付き合っていくべきだと考えるか。二つの文章をふまえ、あなたの考えを**六十字以上八十字以内**で書きなさい。 6点

(12)　二つの文章を読み比べるときの方法として適切なものを**全て**選び、記号で答えなさい。**【完答／二つあります】** 3点

ア　同じ題材について、それぞれの筆者がどのような立場から、何を根拠に述べているかを整理する。

イ　文章が長いほうの筆者の考えが、必ず正しいものとして読む。

ウ　共通している点と異なっている点を分けて整理し、そこから自分の考えをつくる。

エ　自分の考えと合わない文章は、内容を確かめずに読み飛ばす。

オ　どちらの筆者の主張が正しいかを、読む前に決めておく。

解答用紙①　知識・技能

教材別リメイク版　中学３年　国語　「人工知能との未来」／「人間と人工知能と創造性」

３年	組	番	氏名

知識・技能　小計

一　漢字 （１点×20）	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	

一（つづき）	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

解答用紙①（つづき）　知識・技能

教材別リメイク版　中学３年　国語　「人工知能との未来」／「人間と人工知能と創造性」

３年	組	番	氏名	

二　語句の知識（２点×７）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三　文の成分と文の構造（２点×８）	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)	関係〔　　〕／　まとまりの名前〔　　〕		
	(6)			
	(7)	C〔　　〕／　D〔　　〕		
	(8)			

※　三(5)は「関係」と「まとまりの名前」の**両方正解で２点**、三(7)はＣ・Ｄの**完答で２点**です。

解答用紙②　思考・判断・表現

教材別リメイク版　中学３年　国語　「人工知能との未来」／「人間と人工知能と創造性」

３年	組	番	氏名	

思考・判断・表現 小計	合計（100点満点）

四　読み比べ（50点） 文章A「人工知能との未来」 文章B「人間と人工知能と創造性」	(1)		(2)	
	(3)			
	(4)			
	(5)			
	(6)			
	(7)			
	(8)			

解答用紙②（つづき）　思考・判断・表現

教材別リメイク版　中学３年　国語　「人工知能との未来」／「人間と人工知能と創造性」

３年　　組　　番　　氏名		

四（つづき）	(9)	共通点 相違点
	(10)	
	(11)	
	(12)	

※　記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。
　(3)(8)は「～こと。」、(5)は「～ため。」の形で結ぶこと。(10)は**40～50字**、(11)は**60～80字**です。(9)は共通点・相違点の両方を、(12)は**完答**で答えること。